

丸之内通信

満鐵川崎岸壁擴張工事

川崎市扇町日満倉庫満鐵埠頭は近來益々好況を續けて來たので、岸壁を擴張することに決し、雜貨棧橋現在百七十米に六十七米の延長工事の認可を申請中であつたが、認可の指令を受けたので本月から大倉組により着工した、總工費約卅萬圓で明年中に竣工の筈である。竣工後は一萬噸級三隻が同時に着船荷揚げし得るわけで對滿貿易に資すること甚大であらう。

泰阜堰堤竣工

かつて建設中の矢作水力泰阜発電所堰堤工事は此程完成、12月17日堰堤を締切湛水を開始した。因に同発電所は天龍川を堰止めて52,000キロを發電するもので、工事の詳細は本誌第10巻7月號を参照せられたい。

東洋工業會議に於ける感想を聴く會

標記の會が十一月二十八日午後五時より一ツ橋學士會館に於て開催された。主催者側を代表して草間土木學會副會長閉會辭を述べ、次いで土木學會々員にして今回の東洋工業會議に出席したる四氏の講演があつた。

松永工氏は工政會理事として東洋工業會議の趣旨目的及び準備工作の苦心等を述べ、次に宮本武之輔氏は南京政府の主腦者及技術關係者の印象及び日華兩國國民の文化的提携の必要を述べ、次いで加賀山學氏は會議出席者一行の總括的動靜と中華、滿洲、朝鮮各地に於ける會議の印象を述べ、次いで山田隆二氏は中華民國の鐵道部に對する組織及び運用の現状等に就て述べ、尙番外として商工省工務局某氏の規格統一に就て支那の現状を述べ、最後に青山土木學會長の挨拶があつた。當夜の出席者は前會長及前副會長其他多數の先輩も列席され頗る盛會であつた。

新河川工法の懸賞募集

最近我國の水害は頻繁を極め其損害も莫大な額に上つてゐるが、河川工事材料として多年鐵線籠類の製造販賣をして來た下記二社では治水技術の進歩を

促すべく新しい河川工法を懸賞募集することになつた。規定の大意は次の通りである。

〔川崎鐵網工場〕 東京芝區田町二丁目

急流河川に適した工法で(1)主要材料に鐵線籠類を使用したもの(イ)實際施工したもので成績優秀なもの(ロ)實施せずとも優良と認めらるゝ工法(ハ)鐵線籠ノ新工案(但し何れも他の懸賞に應募せざるもの)施工箇所河川名地名見取圖、横斷圖、構造圖、工事費概算等送付のこと。締切は昭和11年1月31日、詳細は川崎鐵網工場技術部へ照會されたし。

〔東洋鐵網製造株式會社〕 東京品川區東大崎町2ノ294。

鐵線籠類(籠の種類を不問)を主要材料とせる強固且つ經濟的新工法にして既に實施せられたるもの又は考案、施工箇所の河川見取圖平面圖(考案のものに想定圖)構造圖、必要あれば仕様書、工費概算書を附せられたし。締切昭和11年1月20日、詳細は東洋鐵網株式會社懸賞係へ照會のこと。

ウオーセクリーターの發展

日本建機株式會社の名の下にウオーセクリーターの發明者眞鍋武雄氏は混凝土の合理的施工に關する同様の研究改良に非常な努力を拂ひつゝあるが、同機の眞價は今や各地の混凝土工事に於て益々重用せらるゝに至り、朝鮮の長津江水電工事には十臺を、鐵道省の信濃川水電工事には七臺を其他各地に於ける使用百臺を突破するに至り、混凝土の合理的施工に對して今や絶對的のものとなりつゝあるは、國產工事用機としての名譽なるのみならず、我が社が先年佐野利器博士及び八田嘉明氏等の讚助の下に混凝土の基本知識を強調し、次いで混凝土の合理的施工に關する設備改善の懸賞募集を行ひ、次いでウオーセクリーターの出現を第一に斯界に紹介したる等、其努力の空しからざりし事は愉快に耐へない。尙ウオーセクリーターは最近北米合衆國の特許をも得るに至つた由である。

近頃關西の土木建築界を驚かしたセメント急硬劑發見の快ニュースがある。其れば大阪安治川汽車製造株式會社で高潮被害の根本対策として各種機械の基礎混凝土約二萬坪を一尺五寸宛打上げる工事にセメント急硬劑を混入して、機械の運轉を休止せず、只公休日のみを利用して着々其の目的を達してゐるものであるが本工事に使用されたセメント急硬劑は專賣特許リード液である。